LUMINA

Fluorescent Laparoscopic Navigation Sheet

特許第 7757575 号、本製品は東京科学大学、京都工芸繊維大学、昭和医科大学の特許技術を使用しています

届出番号：12B1X10005210040

株式会社ニチオン
https://nition.jp
本　　社　〒273-0018　千葉県船橋市栄町２丁目12番4号
手術器械事業本部：TEL. 047-401-8155　FAX. 047-431-1878

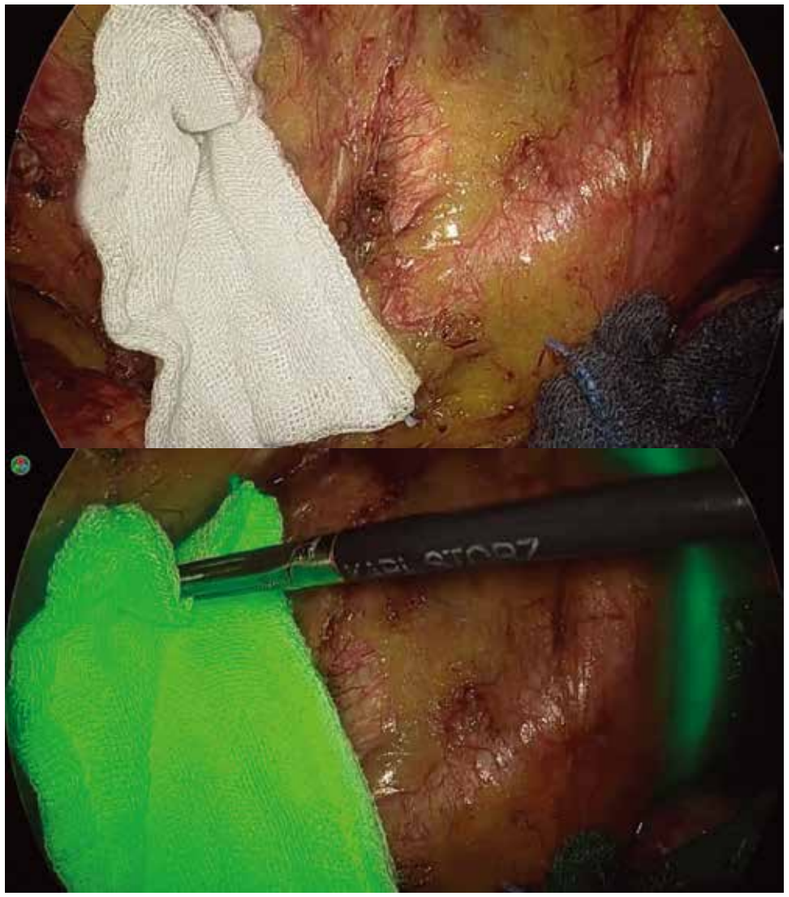
Patient Safety Series

ICGで導く、リアルタイムナビゲーション

蛍光ガイド手術用デバイス

LUMINA

蛍光ラパシート　ルミナ



NITI-ON

蛍光が拓く、次世代手術支援

Case 1

結腸がん手術：内側アプローチ



IMV 周囲から内側剥離を進め LUMIMA を内側剥離層に留置



下行結腸外側から剥離を進め内側剥離層との交通を目指す

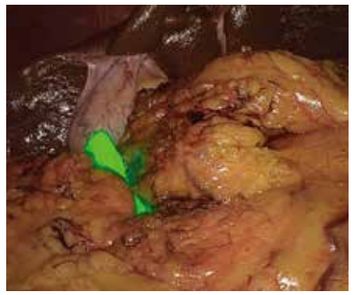


剥離した空間を蛍光で示すことにより内側剥離層と交通しやすい部位を視覚的に把握できる

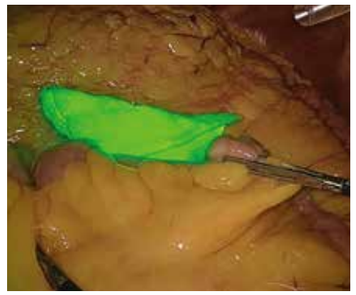
内側アプローチ



結腸右半切除では捜査範囲が広くガーゼを見失うリスクが高い



近赤外蛍光観察では LUMINA が強い緑色蛍光を呈する



ガーゼの代わりに LUMINA を使用することによって探索が容易になる

川口市立医療センター消化器外科・外科　柳　舜仁先生

Case 2

Da Vinci 5







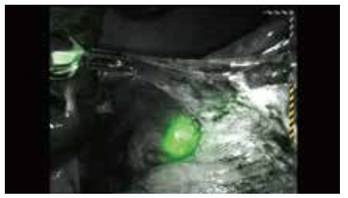
湘南鎌倉総合病院　外科　伊藤　慎吾先生

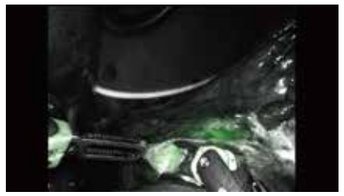
蛍光技術が変える、これからの手術

Case 3

十二指腸潰瘍瘢痕

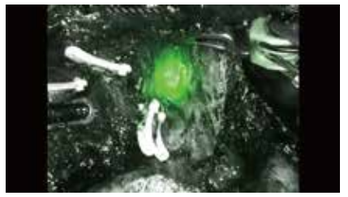






食道背側





胃切除 × hinotori













昭和医科大学病院　消化器・一般外科　山崎　公靖先生　青木　武士先生

Case 4

直腸切断術 × ELITE III







昭和医科大学病院　消化器・一般外科　渡邊　良平先生　青木　武士先生

本学の田代講師を始め，東京科学大学，京都工芸繊維大学の異なる分野の専門家が力を合わせ，「医工学連携」体制に基づいて開発を進めてきた蛍光ガイド手術用デバイス「蛍光ラパシート　ルミナ」が、いよいよ臨床の現場へと歩みを進めます。蛍光という新たな視点をガーゼに付加することで、さまざまな手術シーンにおける安全性と確実性の向上に貢献することが期待されます。
外科医の発想から生まれたこの技術が、今後広く臨床に活用されることを大いに期待しています。

青木 武士



昭和医科大学消化器・一般外科
主任教授　青木　武士先生



昭和医科大学消化器・一般外科
田代　良彦先生

LUMINA